

パームチップの差し込み口をきつくする変更のお知らせ（2025年7月～）

白杖の杖先パームチップは、直径12.7ミリのシャフト（軸）に専用化され、きつくなります。目的は、保持をしっかりさせるためです。具体的な変更箇所は図1のように、シャフト差し込み口と、（取り外す時に工具で噛む）膨らみです。他の仕様や価格などに変更はありません。

背景；パームチップの発売時点（2006年）において、高性能だったアメリカ製（USと略称）の白杖に合わせて、インチ基準の直径12.7ミリ（=1/2インチ）のシャフト用に、差し込み口を設計した。ところが、日本で作られていた直径13ミリの白杖にも、どうにかして使えるように、緩めの穴にしていたが、不安が残った。その後、日本でも作られ始めた高性能な白杖に、直径12.7ミリのシャフトやアダプタを採用していただいて普及し、年月が経ち、定着したため、一本化しました。

お願い；現行品が無くなり次第、順次、置き換えます。外観では区別しにくいので、収納される袋に貼られたシールの型番で判断してください。型番は、PT4US（PT：パームチップ、4：頭の直径4センチ、US：直径12.7ミリのシャフト用）です。パームチップは1種類なので、ご注文の際は、型番がなくて構いません。

シャフトの差し込みがきつくなりますが、図1のように、首と同じ深さ（16ミリほどだが、厳密でなくて良い）くらいまで差し込みます。着脱方法は、製品紹介に載せます。

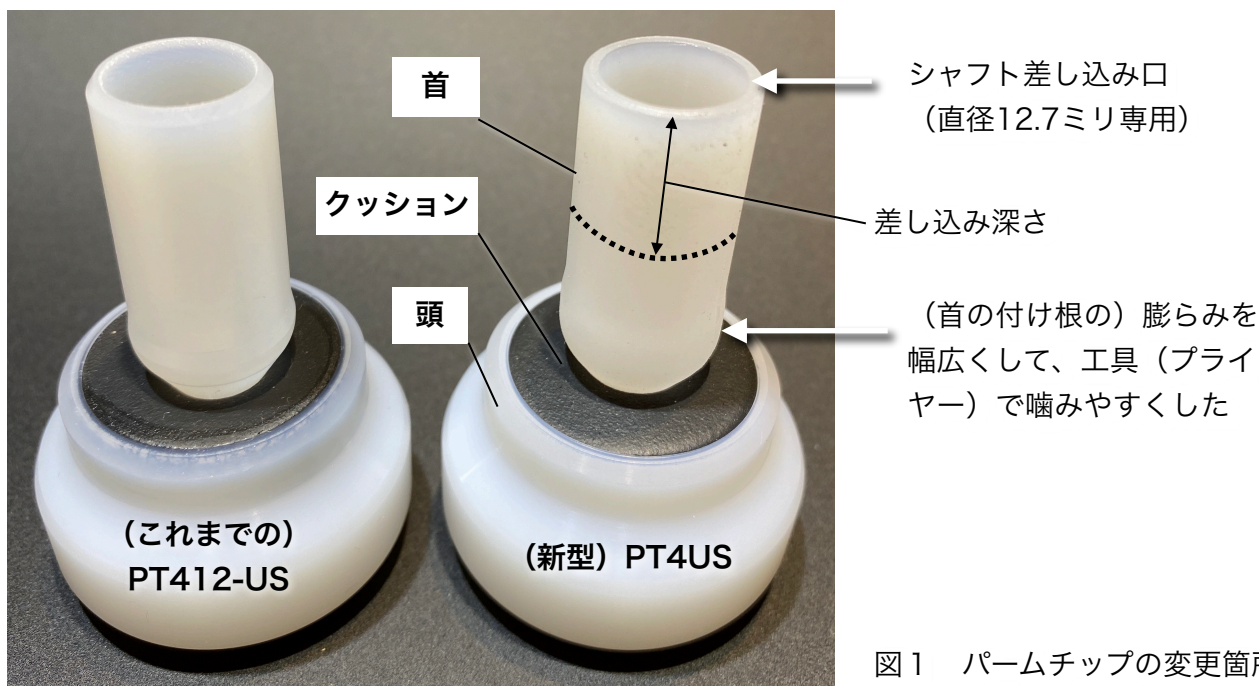


図1 パームチップの変更箇所

